

# KiKiの広場

2023年11月 1日  
cafe NO.157  
KiKi



ヒストリア字部の周囲西側と北側に、プランターが建物を囲むように並べて置いてあります。夏の間は、あまりの暑さで花が枯れてしまいましたが、ようやく気候も落ち着いてきたので、お花係のKさんがビオラの苗を植えてくださいました。色とりどりのビオラたち、やはり生きている花はいいですね。日々成長する姿を目の当たりにすると、嬉しくなります。澄み切った青空が美しい、果物や野菜も美味しい、この時期だからこそ、視覚・聴覚・臭覚・味覚・触覚を研ぎ澄まさせて、五感をしっかり味わい楽しみたいと思います。

**11月の予定**

休館日	14日(火)
休業日	毎土・日・月曜日
臨時営業日	5日(日)



## 「気まぐれシェフのKiKiオリジナルシフォンケーキ」

🍷「さつまいものシフォンケーキ」……300円 🍷

手作りのさつまいも餡とコロコロさつまいもが入った、優しい味のケーキです。おさつチップスと一緒にどうぞ。



## 今月のお気に入り…「いろいろな秋を見つけよう! Part.2」

～「おちぼのしたをのぞいてみたら…」「りんごのき」「きんいろのとき」「くりひろい」「ドングリとリス」「干し柿」などなど～



「おちぼのしたをのぞいてみたら…」は、皆越ようせいさん作の写真絵本です。森や林の落ち葉の下で息づく小さな虫たちを、迫力ある写真で紹介しています。「落ち葉の下は、暗くて物静かなところではなく、実はにぎやかな世界なんです。」とは、皆越さんの言葉です。落ち葉を土にかえてくれる土壌動物たち、初めて見る虫がいっぱい出てきます。虫が苦手ではない人、ぜひ手に取ってみてください。「**りんごのき**」は、チェコの絵本で、訳はうちだりさこさんです。1年かけてリンゴの木が育つ様子を、幼い男の子の目を通して描かれています。お話も絵も本のサイズも、とにかく素朴で可愛い絵本です。



## 今月の本棚…「ぶたが出てくる絵本」

～「三びきのこぶた」「どろんここぶた」「3びきのぶたたち」「3びきのかわいいオオカミ」「おいしいそうなおバシエ」などなど～



「三びきのこぶた」は、イギリスの昔ばなしとしてとてもポピュラーですが、実は原作を忠実に描いている絵本は少ないです。一番多いのは、こぶたたちはみんな助かって、レンガの家で仲良く暮らしたというものです。ひどいのは、オオカミまで仲良しになってしまうというものもあります。それでは、昔ばなしの面白さは損なわれてしまいます。原作では最初の2匹のこぶたはオオカミに食べられてしまいます。3匹目のこぶたとオオカミとの3回の駆け引きがメインです。福音館と童話館からでている絵本が、原作に忠実でどちらも味があって見ごたえがあります。ぜひ読み比べてみてください。アーノルド・ロー



ベル作、岸田衿子さん訳の「どろんここぶた」のこぶたは、お百姓さん夫婦に「世界中で一番かわいいこぶた」と可愛がられています。どろんこの中に座ったままずっと沈んでいくのが大好きなのに、ある日豚小屋を大掃除されてしまいます。怒ったこぶたはどろんこを求めて、家出しますが、さあ、こぶたはどうなるでしょう。どろんこの中でうっとりするこぶたの表情が、何ともいえず幸せそうで可愛いです。



## ほっとフライク

**魔法の水**…10月のある日の昼下がり、カフェに3人のスーツ姿のビジネスマン風の方が3人来店されました。アイスコーヒーかと思いきや、黒豆ジュースとホット黒豆ジュースをご注文。カフェスタッフのKさんが、黒豆ジュースを注文された方に、「これ、魔法の水です。」と、小さなミルクピッチャーを差し出すと、みなさん興味津々…。



魔法の水を入れて、魔法のステッキでまぜると、あら不思議～！きれいな赤色に変身!! 「おお～！」と女子高生のような反応が…。写メまで撮ってみんなでニッコリ。ビジネスマンも乙女に変身させる、「魔法の水」、おそろべし!!

